



面積	14.70km ²
世帯数	146,694世帯
人口	263,663人 (うち外国人) 7,112人
予算	885億円
職員数	2,149人

※平成24年8月1日現在

※平成24年度一般会計当初予算

住みたいまち、住み続けたいまち目黒

目黒区

HPアドレス

<http://www.city.meguro.tokyo.jp/>

歴史・見所・名所

太古から人々が住み、集落を形作ってきた目黒。鎌倉幕府の公的記録をつづった『吾妻鏡』では、建久元(1190)年11月の条に、武蔵武士目黒彌五郎の名が記されており、歴史上では鎌倉時代までさかのぼれる「目黒」ですが、地名の由来は定かではありません。江戸時代には、大都会江戸に生鮮野菜などを供給する典型的な近郊農村として発展し、将軍のタカ狩りの場としても有名になり、目黒不動尊など目黒三社への「目黒詣で」に向かう人々を、江戸市中からたくさん引き入れました。明治以降は駅を中心に竹林や畑が宅地へと変わり市街化が進み、昭和7(1932)年に目黒町と碑衾町が合併して目黒区が誕生、平成24(2012)年に区制施行80周年を迎えました。

区内には、瀧泉寺(目黒不動)、円融寺などの古刹や東京大学、東京工業大学などの文教施設も多く、歴史に彩られ、文化の薫り高いまちです。「自由が丘」「中目黒」などのおしゃれなエリアもあり、「住んでみたいまち」として人気の高い地域です。

概要

東京23区の南西部、武蔵野台地の東南部に位置し、目黒川、呑川による谷地と目黒台と呼ばれる台地が織りなす起伏に富んだ地形で、坂の多いまちをつくっています。面積は14.70m²で23区全体の2.4%にあたり、23区中16番目の広さです。交通の利便性が高く、都心に近い良好な住宅地として発展してきました。

国勢調査に基づく人口は、昭和40(1965)年に30万人近くに達したのをピークに減少に転じ、平成7(1995)年には24万3,100人となりましたが、平成22(2010)年には26万8,330人と回復しています。

主要課題

(1) 災害に強い、安全・安心の地域づくり

区民の防災意識の高まり、放射性物質拡散への不安、エネルギー論議とライフスタイルの変化など、東日本大震災の影響は区民生活のさまざまな場面に及んでいます。自然災害から区民の生命・財産を守るための不燃化・耐震化などの災害に強い街づくりを進めるとともに、自助・共助・公助の観点からの地域と連携した地域防災力を高めていく必要があります。また、区民1,000人当たりの犯罪認知件数は23区最少ですが、自主防犯活動の活性化など更なる防犯対策も必要です。防災の観点からの都市整備とともに、地域と連携した、災害に強い、安全・安心の地域づくりに取り組んでいます。



目黒区総合庁舎

文化的価値の高い既存建物を改修し平成15年1月にオープン、中目黒駅周辺の高層ビルを背景に。



目黒川の桜

区内の目黒川沿いの約3.8キロに800本ほどの桜が続き、人気の花見スポット。

(2) 区民の暮らしへの支援と教育の充実

住み慣れたまちで安心して住み続けるための施策が求められています。待機児童対策としての保育所整備、高齢化が進む中での介護予防や介護サービス基盤・地域包括ケアシステムの構築、社会的な孤立など多様な課題を抱える生活困窮者への対策など、暮らしを支えるセーフティネットの充実に向けた取組みを進めています。

また、学校教育活動の充実や環境整備、中学校の魅力づくり、幼児教育の多様化への対応も課題であり、魅力と活力にあふれ信頼される学校を目指して取り組んでいます。

(3) 環境と調和した地域づくり

安全で快適な街、環境と調和した住みやすい街を実現するためには、中・長期的な視点に立った調和の取れた都市構造の実現と自然環境の保全に向けた継続的な取組みが必要です。エネルギー政策の論議の中で、環境負荷の少ないエネルギー利用への期待も高まっています。良好な住環境の実現に向けた取組みとともに地球温暖化防止や循環型社会づくりの取組みを地域と一体となって進めています。

将来展望

利便性の良さ、良好な居住環境、魅力ある地域資源、まちの治安の良さなどから、区の世論調査では目黒区に住み続けたいという方が常に95%前後で推移しています。これらの目黒の良さを継承し、まちの「価値」を高めるためには、災害や犯罪が少なく、子どもから高齢者まであらゆる区民が安全に安心して生活できること、身近な生活圏で医療・保健・福祉・教育をはじめ、買い物や余暇活動などの多様なサービスが享受できること、美しい街並み・適度な賑わいなどが必要です。さらに、人と人がふれあい、支えあう、心豊かな地域社会を目指し、地域特性に応じた個性豊かで活力のあるまちづくりを地域の皆さんと共に展開することが重要です。

区では、目黒区基本構想で掲げる4つの基本目標、「豊かな人間性をはぐくむ文化の香り高いまち」「ふれあいと活力のあるまち」とともに支え合い健やかに暮らせるまち「環境に配慮した安全で快適なまち」の実現に向け、地域安全、健康長寿、子ども応援、快適住環境、地球温暖化防止、ふれあい・にぎわいの6つの重点プロジェクトを設定し、関連する施策の積極的な展開を進めています。

こうしたまちづくりを進めるためには、何より安定した財政基盤が不可欠であり、区有施設の更新問題など財政上の課題を先送りしない区政運営が必要です。財政健全化に向けた取組みを進めながらも、明るい明日の目黒を切り拓き、区民が心の豊かさを感じ、誇りに思える目黒、希望に満ちた豊かな地域社会を創っていくことで、「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」の実現を目指していきます。



めぐろ区民キャンパス
めぐろパーシモンホール、図書館、体育館、心身障害者施設などの集まる複合施設。



目黒のさんま祭
目黒区民まつりで行われる、落語「目黒のさんま」に因んだお祭。友好都市・気仙沼市の皆さんが地元のさんまを焼いて提供。



碑文谷公園
住宅街にある池のある公園、「ボート場」や「こども動物広場」もあり区民のいこいの場。